

主催者あいさつ



千葉県農業会議創立70周年を迎えて

一般社団法人千葉県農業会議

会長 小池 正 昭

一般社団法人千葉県農業会議は、昭和29年8月に創立されてから、昭和、平成、令和と時代をつなぎ、令和6年8月に創立70周年を迎えることになりました。

歴代の会長をはじめとする役員及び執行部の活躍には敬意を表する次第です。

さて、この70年間の日本の農業情勢を振り返ってみますと、昭和36年に農業基本法が制定されると農業構造の近代化政策・増産政策が推し進められますが、昭和40年代後半になるとブレーキをかけるように減反政策が進められます。さらに昭和60年代から平成時代に入ると農産物輸入自由化協議が激しさを増し、農業の産地間競争が世界に広がるとともに、農業者の高齢化や農産物価格の低迷による生産力の低下が問題となってきました。こうした中で農政は、約40年続いた基本法農政から大きく舵を切り、「食料・農業・農村基本法」を平成11年に制定し、そして本年、食料安全保障を前面に押し出した改正法が成立しました。

農業会議の設立根拠法である「農業委員会等に関する法律」は、こうした農業情勢や農政の変革とともに改正が行われ、農業委員会組織の業務と役割も変化しています。

特に平成27年の改正では、農業委員会活動の重点事項として「農地利用の最適化活動」が加えられ、農業委員会系統組織の業務と責任が大幅に増しました。

さらに全国47都道府県の農業会議は、全国一斉に社団法人化した上で、改めて県知事から農業委員会ネットワークとして指定されるという新たな枠組構成となり、自己責任という大きな使命が課せられました。

日本の農業が様々な要因から縮小傾向にある中で、農地利用の最適化活動にはたくさんの課題が待ち受けております。しかしながら、私たち農業委員会系統組織は、創立以来、農地を守り次世代へ健全に引き継ぐという使命と、食料生産の基本となる農地の保全と第一次産業の健全な振興は国家の基礎であるという信念を強く持ち、担い手を育成し農地を集約させる活動に日々奮戦しているところです。今後も農地を守り最適化する役割を担う責任を十分認識し、活動を続けてまいります。

県をはじめ関係者の皆様には、農業会議の日頃の業務に御理解、御協力いただいておりますことにお礼申し上げますとともに、創立70周年が迎えられたことを厚く感謝いたします。

祝 辞



千葉県農業会議創立70周年を祝して

千葉県知事 熊谷 俊 人

千葉県農業会議が、創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。千葉県農業会議は、昭和29年に創立され、その長い歴史の中で、市町村農業委員会のサポート組織としての農業委員会への各種の支援、農地情報の収集と提供、農業者への経営支援、担い手の組織化と運営支援など、多岐にわたる重要な役割を果たしてこられました。この節目の年を迎え、その功績に改めて敬意を表します。

千葉県は、首都圏にありながら豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、全国屈指の農業県として発展していますが、近年、農業を取り巻く環境は、気候変動や国際情勢などの地球規模の影響を受け、厳しさを増しています。

このような中、本県の農業は、農業の持続的な発展、食料安全保障の確保など、時代に対応するための変革が求められています。

そのため、県では、産出額の増大や所得の向上に向け「次世代を担う人材の育成・確保」、スマート農林水産業の加速化などによる「農林水産業の成長力の強化」、県産農林水産物のブランディング、販売促進や輸出拡大などの「販売力の強化」に取り組むとともに、「地域の特色を生かした農山漁村の活性化」など、様々な施策に取り組んでいるところです。

農業の持続的な発展などに関する各種施策を総合的に推進するためには、千葉県農業会議をはじめ、市町村及び市町村農業委員会、並びに地域の農業者や農業関連団体などとの連携・協力が必要不可欠となりますので、引き続き御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、千葉県農業会議のこれまでの御尽力に心から感謝申し上げるとともに、千葉県農業会議のますますの御発展を祈念いたしまして祝辞とさせていただきます。

祝 辞



千葉県農業会議創立70周年を祝して

千葉県議会議長 瀧田 敏 幸

千葉県農業会議が創立70周年を迎えられたことを、心よりお祝いを申し上げます。一般社団法人千葉県農業会議は、昭和29年8月の創立以来、農業を取り巻く環境の変化に対応し、優良農地の確保、農業委員会の支援、担い手育成・経営支援、新規就農希望者への支援など様々な業務を担い、本県農業の発展に大きな役割を果たしてこられました。これもひとえに、歴代役職員の皆様の御尽力の賜物であり深く敬意を表します。

さて、本県は、温暖な気候と大消費地である首都圏に位置する恵まれた立地条件や農業者の高い技術と意欲に支えられ、農業産出額（令和4年）が全国4位を誇る全国屈指の農業県です。

しかしながら、昨今の本県農業を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者不足による生産者の減少、生産資材・原材料の高騰、鳥獣被害や耕作放棄地の発生による農地の維持管理への影響など、多くの課題を抱えています。

県議会といたしましては、このような環境にあっても、本県農業が更なる発展を遂げられるよう、農業政策の充実に取り組んでまいりますので、千葉県農業会議におかれましても、農業者の代表機関として農業委員会への助言など、一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県農業会議のますますの御発展を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



千葉県農業会議の創立 70 周年を祝して

一般社団法人全国農業会議所

会 長 國 井 正 幸

千葉県農業会議が創立 70 周年を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

都道府県農業会議並びに全国農業会議所は、昭和 26 年に農地委員会・農業調整委員会・農業改良委員会が統合して農業委員会が発足したことを受け、昭和 29 年に設置されました。

以来、千葉県農業会議は、農地法等の適正な事務実施、農業・農村の振興、経営感覚に優れた農業経営者の育成といった、「土地と人」対策に一貫して取り組んでこられました。歴代の会長をはじめとする関係者の皆様のこれまでのご労苦に対し、深く敬意を表しますとともに心より感謝を申し上げます。

さて、都道府県農業会議並びに全国農業会議所は、農協・農業委員会改革に伴う「農業委員会等に関する法律」の改正により、平成 28 年に一般社団法人に組織変更するとともに、都道府県・全国農業委員会ネットワーク機構としての指定を受け、「農地利用の最適化」という新たな役割に邁進しているところであります。

その一環といたしまして、私たち農業委員会系統組織は現在、農業経営基盤強化促進法に基づき、全国の市町村において、10 年後の農地利用の将来像を示す「地域計画」の素案づくりに取り組んでいるところであります。この地域計画をしっかりと作り上げ、そして実効性あらしめるため、千葉県下の農業委員会関係者の皆さまのなお一層のご尽力をお願い申し上げます。

また、本年の通常国会におきましては、食料安全保障上のリスクの高まりや農業・農村の情勢の変化を背景に、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正されました。今後は、これを具現化する新たな食料・農業・農村基本計画の策定や農地制度の見直しなどが予定されており、農業委員会等に関する法律に定める「農地等利用最適化推進施策の改善についての具体的な意見」の提出の活動をはじめ、農業委員会系統組織への期待や果たすべき役割は、ますます大きくなるものと考えております。

全国農業会議所といたしましても、都道府県農業会議と連携を密にして、政策立案に現場の声を反映させ、「夢と希望の持てる農政」の確立に向けて不断の努力を重ねて参る所存であります。

千葉県農業会議におかれましても、農地利用の最適化をはじめとする農政の一層の推進に取り組まれるとともに、農業者年金の加入推進、並びに「全国農業新聞」「全国農業図書」など情報提供活動の強化に向けて、引き続き、さらなるご協力をお願い申し上げます。

結びに、千葉県農業会議の創立 70 周年を契機に、農業会議・農業委員会の活動が活性化し、千葉県の農業がさらなる発展されますことをご期待申し上げますとともに、皆さまのご健勝とますますのご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



千葉県農業会議創立70周年を迎えて

千葉県農業協同組合中央会

代表理事会長 松 元 善 一

一般社団法人千葉県農業会議が創立70周年を迎えられることを、JA グループ千葉を代表し心からお祝い申し上げます。

千葉県農業会議におかれましては、私ども JA グループ千葉に対し、日ごろより多大なご指導・ご支援を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

千葉県農業会議は、昭和29年に設立以来、農地を守り次世代へ橋渡しができるよう、担い手を育成し農地を集約させる活動に取り組み、地域農業の発展に多大な貢献をしてこられました。

しかしながら、担い手の高齢化や担い手不足、農産物価格の低迷、資材高騰など厳しい環境にあり、地域農業は極めて危機的な状況にあります。地域農業が衰退し、耕作放棄地が増加することはわが国の食料の安定的な供給に関わる問題となり、食料の安全保障の観点からも農地や担い手の確保が必要となります。

そのような中で市町村は、令和7年3月までに地域での話し合いにより、目指すべき将来の地域農業の姿を明確化した「地域計画」を定めることとなっています。その「地域計画」の根幹となる「目標地図」は、農地の集約を図り農作業の効率化につながる重要なものとなります。この「目標地図」の素案を中心となって作成する農業委員会を支援する千葉県農業会議の役割は極めて重要なものと考えるところです。

また、本年5月には「農政の憲法」である「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障に関する目標の設定や食料の適正な価格形成等を盛り込んでいます。

本県におきましては、千葉県農業会議をはじめ千葉県、公益社団法人千葉県園芸協会、JA グループ千葉で構成する千葉県農業者総合支援センターにおいて、担い手へ効果的かつ効率的な支援を行っており、引き続き地域農業発展のため連携して取り組みを進めて参りたいと考えております。

結びに、記念すべき70周年を通じて益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



千葉県農業会議創立70周年を祝して

千葉県市長会長

流山市長 井 崎 義 治

千葉県農業会議が、創立70周年を迎えられましたことを心からお祝いを申し上げます。

千葉県農業会議におかれましては、各市の農業委員会や農業従事者にとっても関わりが深く、農地法等の法令に基づく行政行為を補完する業務をはじめ、農業経営者・農業法人等の組織活動の支援など農業経営の近代化を支援する業務や市町村の農業委員等に対する講習や研修等、農業発展のためご尽力をいただき誠にありがとうございます。

今日、千葉県が全国有数の農業県の地位を築けましたことは、千葉県農業会議のご努力と熱意の賜物であり、ここに深く敬意と感謝を申し上げます。

近年、農業を取り巻く環境は、生産者の減少と高齢化の進行、農地の減少や耕作放棄地の増加、鳥獣被害の増加、台風等の災害による被害等、問題が山積しております。

さらに、国の食料・農業・農村基本計画において、国内農業の生産基盤の強化や、国民生活に不可欠な食料を安定的に供給し、食料自給率の向上と食料安全保障の確立を図ることが示されております。

これらの問題を解決し、より県内農業を発展させていくためには、国及び農業関係者、千葉県農業会議、県、市町村が一体となって協力し取り組む必要があります。

県市長会としましても、引き続き、県内市町村はもとより国や県との連携を強化し、県内農業の発展のため取り組んでまいり所存であります。

千葉県農業会議及びその構成員の皆様におかれましては、今までの経験や知識を生かし、本県農業の一層の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県農業会議の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



千葉県農業会議創立70周年を迎えて

千葉県町村会長

東庄町長 岩田利雄

千葉県農業会議が創立70周年を迎えるにあたりまして、心からお祝い申し上げます。

昭和29年に設立された千葉県農業会議は、現在に至るまでの70年の長きにわたり、関係者の皆さま方の努力により、千葉県の農業施策を推進し、全国有数の農業立県の地位を築かれました。

また、各町村に設置されております農業委員会につきましては、町村からの農地転用の許可申請に関する審査、関係者に対する農業情勢等に関する情報提供や、専門的知識の習得・研鑽のための研修の場を提供していただいていることに、この場をお借りし深く御礼を申し上げます。

昨今、農業を取り巻く社会情勢は、少子高齢化に伴う担い手不足、将来の後継者不足、そして人口減少に伴う国内市場規模の縮小等が危惧されています。

併せて各地の耕作放棄地問題は、我が国の食料自給率の低下と安定的な供給に深刻な影響を与えることが懸念されます。

我々、町村長といたしましても、国や県等関係機関と連携を図り、これらの諸課題に対する取組を進め、次世代を担う若い方々が農業に関心を抱く環境づくりに励み、活力と地域の特色に満ち溢れた農業の発展、地域ブランドの育成等に努めてまいります。

千葉県農業会議及びその構成員の皆様におかれましては、本県農業の一層の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県農業会議の益々のご発展を心から祈念して、お祝いを申し上げます。